



宇陀市人口ビジョン及び まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)



平成27年12月



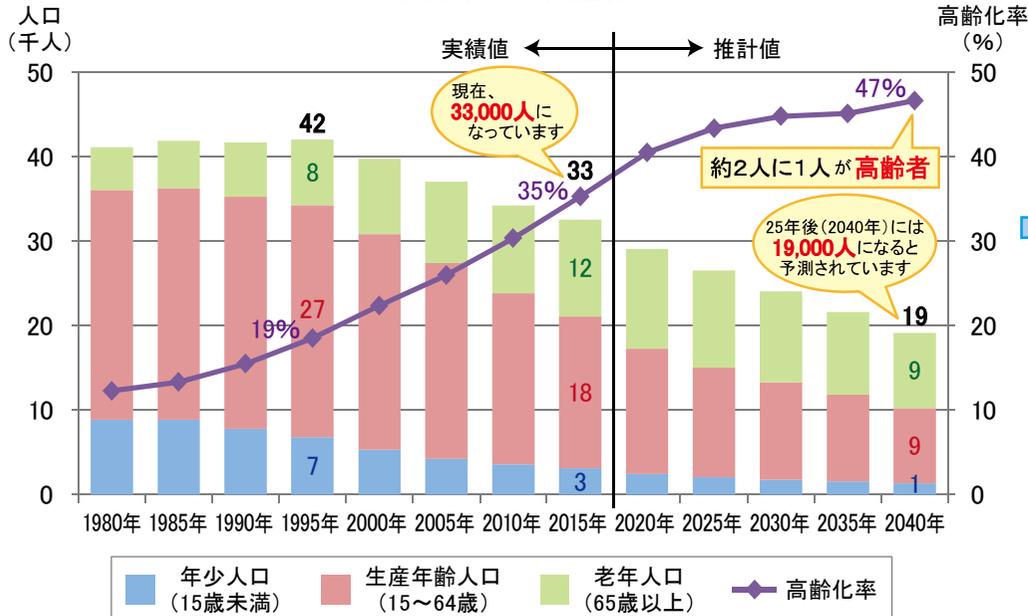
目次

- 宇陀市人口ビジョン1
 - 宇陀市の人口の現状と課題1
 - 宇陀市の目指すべき将来像2
- 宇陀市総合戦略3
 - 基本目標1 しごと：地域資源を活かして育てるまちづくり4
 - 基本目標2 ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり6
 - 基本目標3 まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり8
- 四季の風薫る 健幸で魅力あるまちづくりを目指して10

宇陀市の人口の現状と課題

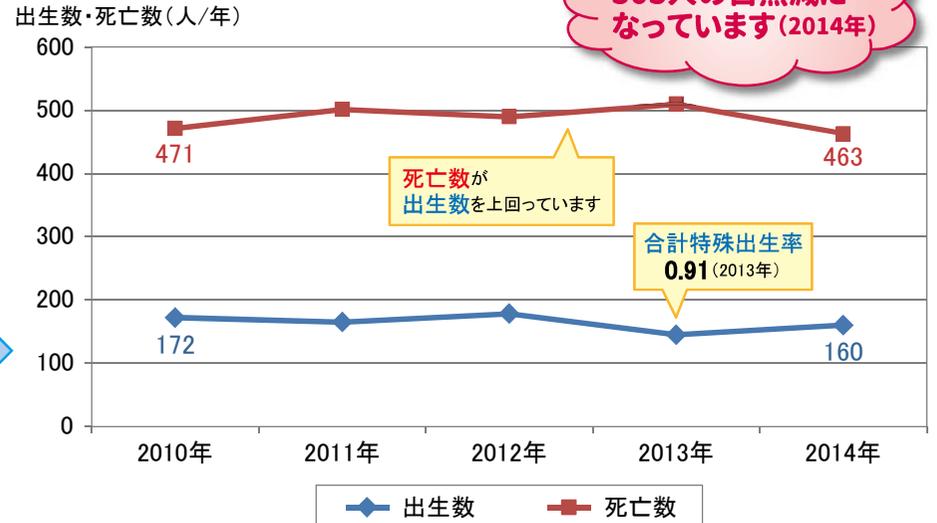
毎年約 650 人ずつ
人口が減少しています

宇陀市の人口推移



資料:実績値は国勢調査・住民基本台帳
推計値は国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口」

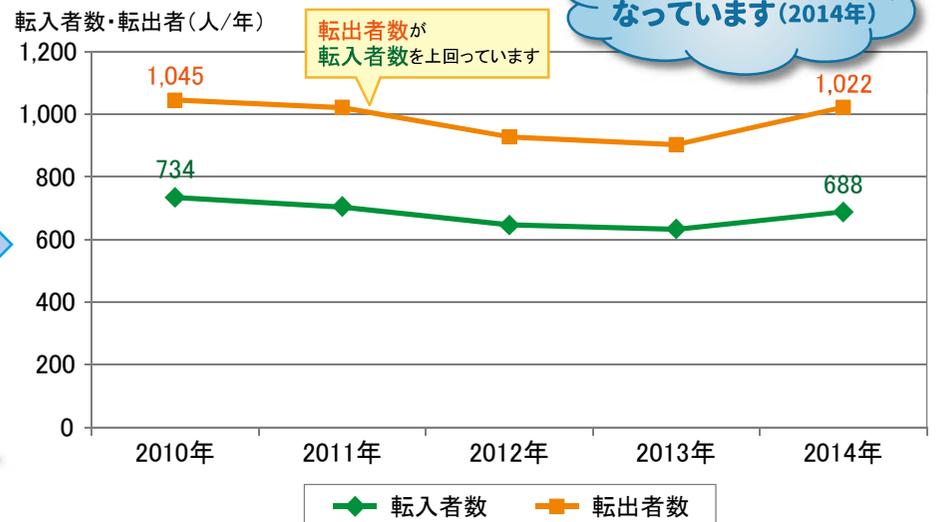
宇陀市の出生数・死亡数の推移



資料:総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

注:自然減とは、死亡者数が出生数を上回っている状態です

宇陀市の転入者数・転出者数の推移



資料:総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

注:社会減とは、転出者数が転入者数を上回っている状態です

人口が減ると、
こんな問題が！

例えば・・・
消費金額が低下し、宇陀市の活力が失われます
税収の減少に伴い、宇陀市の各種サービスが低下します

宇陀市の目指すべき将来像

このまま何も対策を行わないと…

■2040年には
人口約19,000人
高齢化率は約47%

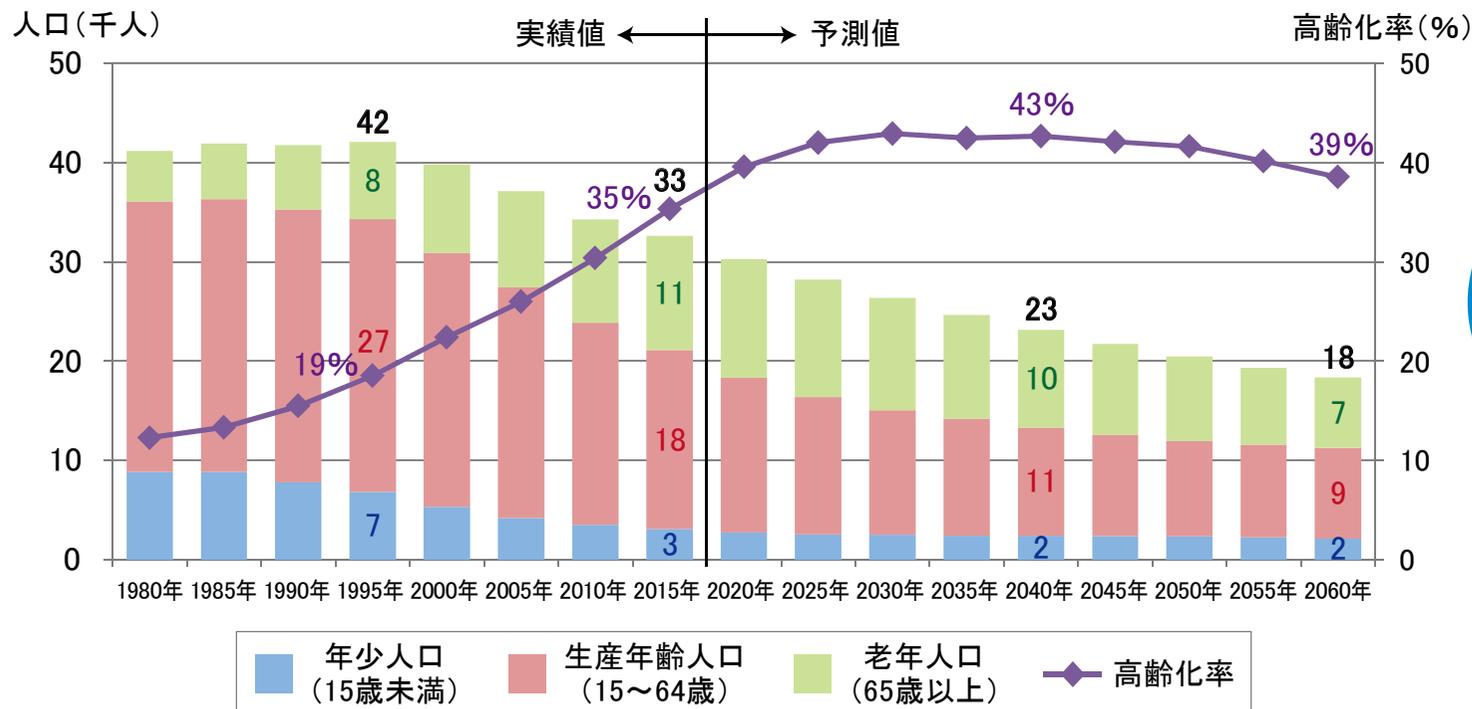
宇陀市が目指す将来の人口

- 2040年に人口23,000人を目指します
 - ・合計特殊出生率は、2040年までに1.9(意向調査結果)を達成するよう、段階的に増加を図り、2040年以降は、国の目標値である2.07を2060年に達成できるよう各種施策を展開します
 - ・純移動率は、2020年に意向調査結果を達成し、更に、2040年までに15～64歳人口(生産年齢人口)の純移動率を5年間で1.5ポイントずつ上昇させるよう各種施策を展開します

宇陀市が目指すべき将来像

- 自然増減について
 - ・早期に結婚、出産子育て環境の改善を図っていきます
- 社会増減について
 - ・転出者の「宇陀市に戻りたい」意向、転入者の「宇陀市に永住したい」意向に対する対応を早期に図っていきます
 - ・更に、生産年齢人口の世代の転出減少、転入増加のための施策を講じていきます

宇陀市の人口将来展望



2040年の人口を
23,000人に維持



宇陀市総合戦略

キャッチフレーズ：四季の風薫る 健幸で魅力あるまちづくりを目指して

しごと 地域資源を活かし育てるまちづくり

基本目標Ⅰ

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化
2. 地域資源を活かした観光戦略
3. 地場産業等への支援による仕事づくり



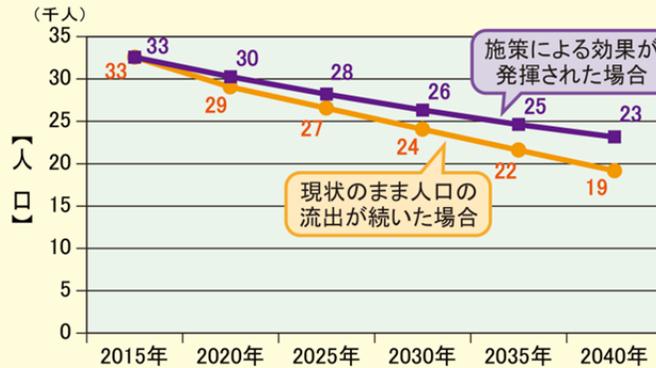
ひと 暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

基本目標Ⅱ

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化
2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実
3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実



2040年に人口23,000人を目指す



1. 地域連携の強化
2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現
3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

まち 地域が連携した安心・安全なまちづくり

基本目標Ⅲ



基本目標Ⅰ しごと：地域資源を活かし育てるまちづくり

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

- ①1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信
薬草プロジェクト事業



大和トウキ



「推古天皇薬獵壁画」星薬科大学所蔵

- ②高原野菜等のブランド化
特産品等認定開発補助事業



機能性表示支援事業

有害鳥獣対策の強化

- ③宇陀産材の普及及び
森林の保全

木材出荷促進事業



宇陀市産木材利用促進事業

2. 地域資源を活かした観光戦略

- ①四季折々の自然をはじめとする宇陀の
地域資源で観光地の魅力を創造

宿泊事業者誘致事業



観光誘致促進事業 等

- ②健幸都市宇陀ならではのス
ポーツツーリズムの推進

還暦野球推進事業



自転車のまちづくり事業 等

- ③宇陀のおもてなし、農家レストラン・
農家民宿等の支援

おもてなしのまちづくり
～農家レストラン・農家民宿等支援事業～



- ④色彩豊かな宇陀づくり
かえで植樹推進事業



宇陀四季彩推進事業

3. 地場産業等への支援による仕事づくり

- ①未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援

企業立地推進事業



商品企画支援事業



宇陀市伝統技術後継者育成事業 等



- ②ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売
ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業



特産品・名産品PR事業

数値目標

・新規農業就業者:8名 (H26) ⇒ 25名 (H31) ・市内観光客数:122万人 (H26) ⇒ 150万人 (H31)

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

<p>1400年の伝統を受け継ぐ薬草産業の復興を目指すとともに、高原野菜のブランド化及び認定を促進し、基幹産業である農林業の取り組みを強化します。</p> <p>■薬草の生産拡大から関連する商品・サービスの創出等を総合的に行い、『薬草発祥の地宇陀』から全国に薬草の魅力の発信を行います。</p> <p>■高原野菜等のブランド化を促進するとともに、6次産業化により、地域ブランド商品の開発を図ります。</p> <p>■林業の持続的で健全な発展のために、宇陀産材の需要拡大を図ります。</p>	<p>①1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬草プロジェクト事業 <p>②高原野菜等のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品等認定開発補助事業 ・機能性表示支援事業 ・有害鳥獣対策の強化 <p>③宇陀産材の普及及び森林の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材出荷促進事業 ・宇陀市産木材利用促進事業 	<p>重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓薬草を活用した商品開発品目数 ✓薬草生産者数 ✓機能性表示件数 ✓木材搬出量 ✓有害鳥獣被害額 	<p>平成27年基準値</p> <p>0品目</p> <p>2人</p> <p>0件</p> <p>8,950㎡</p> <p>11,600千円</p>	<p>平成31年目標値</p> <p>30品目</p> <p>100人</p> <p>10件</p> <p>17,150㎡</p> <p>8,120千円</p>
--	---	--	--	--

2. 地域資源を活かした観光戦略

<p>自然、歴史、文化、景観など、宇陀市が全国に誇る豊かな地域資源を積極的に活用し、近隣自治体との広域連携をはじめとする観光戦略により、来訪者の増加を図り交流を活発にします。</p> <p>■宇陀市への関心や興味を持ってもらえるよう、地域の魅力を発信するとともに、様々なイベントの開催や受け入れ態勢を整えます。</p> <p>■スポーツツーリズムのより一層の普及により、宇陀市民だけでなく、広く市外からの来訪者との交流を深めます。</p>	<p>①四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊事業者誘致事業 ・観光誘致促進事業 ・まちなか食べ歩きチケット造成事業 <p>②健康都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・還暦野球推進事業 ・自転車のまちづくり事業 ・大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト <p>③宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしのまちづくり～農家レストラン・農家民宿支援事業～ <p>④色彩豊かな宇陀づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえで植樹推進事業 ・宇陀四季彩推進事業 	<p>重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓宿泊観光客数 ✓新規商品(着地型含む)の造成数 ✓農家レストラン・農家民宿数 	<p>平成27年基準値</p> <p>25,000人</p> <p>1商品</p> <p>0件</p>	<p>平成31年目標値</p> <p>40,000人</p> <p>20商品</p> <p>5件</p>
---	---	---	---	--

3. 地場産業等への支援による仕事づくり

<p>宇陀市が全国に誇る伝統産業・地場産業が将来へ継承できるように、新しくチャレンジする事業への支援・産業情報や特産品の積極的なPRを行います。</p> <p>■産・官・学の連携及び大手と中小の企業の連携等により、『ひと・もの・かね』が循環するネットワークを構築することで、宇陀市の地場産業や新しい事業の展開を目指します。</p>	<p>①未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地推進事業 ・商品企画支援事業 ・うだチャレンジアシスト補助金事業 ・中小企業等施設改修・設備投資補助事業 ・宇陀市伝統技術後継者育成事業 ・創業・既存企業等支援ネットワーク事業 <p>②ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業 ・特産品・名産品PR事業 	<p>重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓進出企業数 ✓市内伝統産業後継者数 ✓市内事業所の創業件数 ✓ポータルサイト利用者数 	<p>平成27年基準値</p> <p>1件</p> <p>0人</p> <p>1件</p> <p>30社</p>	<p>平成31年目標値</p> <p>5件</p> <p>12人</p> <p>5件</p> <p>60社</p>
---	---	--	--	---

基本目標Ⅱ ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

①働きながら住み続けられるまちの推進

空き家・空き店舗等の活用事業



空き家情報バンク事業

定住促進奨励金交付事業



子育て世代定住支援事業 等

3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

①夢を育む教育環境の充実

幼児教育環境充実事業



英語教育推進事業

子どもの夢を育てる「夢教室」事業 等

②元気な子どもづくりの推進

学校給食地産地消促進事業



うだ子ども元気づくり
プロジェクト事業



平成榛原子供のもり公園
再生プロジェクト事業 等

2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

①婚活支援イベント等の充実

同窓会開催補助事業（アタック25）



結婚支援事業

～宇陀カップリングパーティー～

②誰もが子どもを産みやすい環境の充実

出産祝い金支給事業



一般不妊治療助成事業

③子育て支援の充実

便利な田舎

～宇陀のレシピ事業～



ファミリーサポートセンター事業 等

子どもに育てられる地域づくり
～地域子育てサポート事業～



数値目標

・合計特殊出生率:0.90 (H25) ⇒ 1.40 (H31) ・人口移動(社会減): 約300人/年(H22-H26平均) ⇒ 150人/年(H31)

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

宇陀市への移住・定住を促進するために、ICT等を積極的に活用して、宇陀市の魅力発信に繋がります。

■市外からの転入を増やすだけでなく、市民の転出を食い止めるために、各種情報の発信や定住支援を行います。

①働きながら住み続けられるまちの推進

- ・空き家・空き店舗等の活用事業
- ・女性のための就業支援事業
- ・空き家情報バンク事業
- ・定住促進奨励金交付事業
- ・榛原駅周辺若者定住プロジェクト
- ・子育て世代定住支援事業
- ・宇陀の魅力発信事業

重要業績評価指標 (KPI)

	平成27年基準値	平成31年目標値
✓移住相談件数	60件	120件
✓空き家バンク登録件数	20件	60件

2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

宇陀市民が安心して結婚・出産・子育てを行えるように、切れ目のない支援制度の充実や環境の整備を図ります。

■同窓会やイベントの開催により、出会いやきっかけづくりなどの結婚支援のサポートを図ります。

■妊娠から出産・子育てまで支援制度の充実を図ります。

■子育てに対する個別の支援だけでなく、地域全体で支援する体制を整えます。

①婚活支援イベント等の充実

- ・同窓会開催補助事業(アタック25)
- ・結婚支援事業～宇陀カップリングパーティー～

②誰もが子どもを産みやすい環境の充実

- ・出産祝い金支給事業
- ・一般不妊治療助成事業

③子育て支援の充実

- ・便利な田舎～宇陀のレシピ事業～
- ・三世代ファミリー同居・近居応援事業
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・子どもに育てられる地域づくり～地域子育てサポート事業～
- ・病後児保育事業
- ・一時預かり事業

重要業績評価指標 (KPI)

	平成27年基準値	平成31年目標値
✓出生届け出件数	144件	175件
✓子育て支援センター利用者数	6,700人	7,500人
✓ファミリーサポート活動件数	130件	250件
✓一時預かり利用者数	1,350人	1,500人

3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

子どもたちの笑顔がいつもあふれている宇陀市をつくるために、子どもの成長を支えていきます。

■幼児期の教育環境を整えることにより、子どもの能力を向上させ、心身ともに健やかな成長を支援します。

■就学前・小学校・中学校の連携を充実させ、『生きる力を育む教育』の充実や『豊かな地域教育力』の構築を図ります。

■子どもたちの市・地域への郷土愛の醸成を図りながら、次世代を担う子どもの育成を目指します。

①夢を育む教育環境の充実

- ・幼児教育環境充実事業
- ・英語教育推進事業
- ・子どもの夢を育てる「夢教室」事業
- ・学びの広場UDAプラン・学力向上推進事業
- ・学力学習状況調査事業
- ・学校・地域パートナーシップ事業
- ・中学校・乳幼児ふれあい体験事業

②元気な子どもづくりの推進

- ・学校給食地産地消促進事業
- ・うだ子ども元気づくりプロジェクト事業
- ・平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト事業
- ・子どもフェスタ事業

重要業績評価指標 (KPI)

	平成27年基準値	平成31年目標値
✓預かり保育利用者数	5,000人	6,000人
✓ALT配置教員数	3人	5人
✓学校給食地産地消費率(野菜・きのこ類)	10.5%	20.0%

基本目標Ⅲ まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり

1. 地域連携の強化

①市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化

活力ある地域づくりは、まち協から



高齢者等見守り隊



ウェルネスシニア健康学校



安心・安全なまちづくり事業

①健幸を目指したウェルネスシティの推進

ウェルネスシティ“うだ”推進事業

1. 病気の予防と健康づくり

2. 子どもたちの体力向上

3. 介護予防と生きがいのづくり

4. 歩きたくなる、仕事が続けられる環境づくり

5. ともに支えあう地域づくり

6. 地域包括ケアシステムの構築



宇陀市地域包括ケアシステム推進事業

①小さな拠点づくり

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり

宇陀松山周辺地区のまちづくり



うたの古市場地区周辺のまちづくり

室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり

②地域公共交通の整備

持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

数値目標

地域づくり取り組み件数: 12 件 (H26) ⇒ 100 件 (H31)

・健康寿命県内順位: 男性: 22 位 (H23-H25 平均) ⇒ 1 位 (H31)
女性: 28 位

1. 地域連携の強化

まちづくり協議会を中心に、地域の連携と地域の課題解決を図り、市民が主役の地域づくり・まちづくりを目指します。

■地域全体で身近な支え合いを行うことで、市民の健康で安心した生活に繋がります。

■医療介護・防災への対応力を高めるため、宇陀市とその周辺地域との連携を強化できるように支援します。

①市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化

- ・活力ある地域づくりは、まち協から
- ・ウェルネスシニア健康学校
- ・高齢者等見守り隊
- ・安心・安全なまちづくり事業

重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓高齢者見守り隊登録数	13 自治会	100 自治会
✓自主防災組織の結成率	61.66%	100%
✓ウェルネスシニア健康学校卒業生	40 人	120 人

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

市民の誰もが健康で幸せと思えるまち、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちづくりを推進します。

■市民一人ひとりが楽しみながら、日常的に運動に取り組めるような仕組みを充実します。

■地域の人々が健康イベントで顔を合わすことで、人のつながりを強化するとともに、健康増進意識の向上を目指します。

■高齢となって介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「すまい」が適切に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指します。

①健幸を目指したウェルネスシティの推進

- ・ウェルネスシティ“うだ”推進事業
- ・宇陀市地域包括ケアシステム推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓特定健康診査受診率	24.7%	60%
✓介護保険サービスにおける居宅サービスの給付割合	35.3%	40%
✓医療介護あんしんセンター認知度	47.8%	60%
✓訪問診療認知度	67.0%	70%

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

市街地や地域の拠点ネット（網状）で結ぶことで、各地域の中心地及び市街地周辺へのアクセスを向上させ、市民生活に身近な商店街や公共施設、快適な住環境が整ったコンパクトなまちづくりの実現を目指します。

また、地域住民・交通事業者・行政が一体となって持続可能な地域公共交通を育てることによって、地域間の連携を強化します。

■コンパクトなまちづくりに向けて、県と市が連携協定を締結のうえ、協働でプロジェクトを実施し、駅前のアクセスや利便性を向上させるとともに、都市機能を充実させる各種施設を整備し、多くの人々が集まれるようにします。

■地域資源を活用して市外からの来訪者を受け入れるだけでなく、地域住民の生活が向上するようまちづくりを行います。

■公共交通が生活に密着し、より利用しやすいものとなるように、地域住民・交通事業者・行政が一体となって検討していきます。

①小さな拠点づくり

- ・近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり
- ・宇陀松山周辺地区のまちづくり
- ・うたの古市場地区周辺のまちづくり
- ・室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり

②地域公共交通の整備

- ・持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業

重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値
✓榛原駅前通り通行者数	50 人/時	100 人/時
✓重伝建地区(宇陀松山)訪問客数	28 万人/年	35 万人/年
✓室生寺周辺訪問客数	19 万人/年	30 万人/年
✓「奈良カエデの郷ひらら」周辺訪問者数	2 万人/年	5 万人/年

四季の風薫る 健幸で魅力あるまちづくりを目指して



わが国では人口の減少が平成20年から始まっていますが、本市ではそれよりも早く、平成7年の約4.2万人から減少傾向が続いており、現在約3.3万人となっています。そこで平成26年9月から「人口減対策本部」を設置して、独自の取り組みに着手しています。

このような社会情勢を背景に、平成26年11月に少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的として、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための「まち・ひと・しごと創生法」が公布、施行されました。

この法律で、各市町村は区域の実情に応じて、まち・ひと・しごと創生に関する目標、市町村が講ずべき施策に関する基本的方向、施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定めた「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め公表することを求められています。

本市は、平成28年1月1日、誕生から10周年という大きな節目を迎えます。“宇陀はひとつ”という思いのもと、地域の一体感の醸成が図れてきていると実感しております。これを契機にさらに飛躍するために、将来のあるべき姿をしっかりと見据えたうえで市政運営に努めていかなければなりません。そのような中で、地域資源を最大限活用しながら産業振興・雇用創出、観光交流の拡大に努め、地域の活性化や魅力あるまちづくりのためにイノベーションを推進するべく、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策等をまとめた『宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略』をこのたび策定いたしました。

本総合戦略においては、「薬草産業の復興や高原野菜のブランド化等による農林業の再生・活性化」「子育て支援や教育の充実」「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現」「まちづくり協議会を中心とした地域の連携」「小さな拠点の形成によるコンパクトなまちづくり」などを主要施策・事業として位置づけており、それら取り組みを積極的に展開し、自分たちの地域に自信と誇りを持てる魅力あるまちづくりを目指していきたいと考えております。

そのためにも、市民のみなさまをはじめ、産・官・学・地域が一丸となって本総合戦略に取り組んでいただき、PDCAサイクルによる検証結果のもと、随時、必要な見直しを行ってまいります。

最後に、本総合戦略の策定にあたりご尽力いただいた「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会」の委員の皆さまをはじめ、ご協力・ご支援いただいた市民の皆さまや関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

平成27年12月 宇陀市長 竹内幹郎